

2015年12月1日～2017年12月31日の間に
当科において免疫チェックポイント阻害薬（ニボルマブ（オプジーボ®）あるいはペムブロリズマブ（キイトルーダ®）による治療を受けられた肺がんの方及びそのご家族へ
—「高齢非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害薬の有効性・安全性についての後方視的研究」へご協力をお願い—

研究機関名 四国がんセンター
研究機関長 病院長

研究責任者 四国がんセンター 呼吸器内科 原田 大二郎
研究分担者 四国がんセンター 呼吸器内科 野上 尚之
上月 稔幸

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

ニボルマブ（オプジーボ®）やペムブロリズマブ（キイトルーダ®）などの免疫チェックポイント阻害薬は、2015年に再発・進行非小細胞肺癌に対して本邦で使用できるようになりました。しかしながら、75歳以上の高齢者における免疫チェックポイント阻害薬の治療効果および安全性については、はっきりとわかっていません。本研究では、75歳以上の非小細胞肺癌患者さんにおける免疫チェックポイント阻害薬の有効性および安全性を検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

75歳以上の高齢者における免疫チェックポイント阻害薬の治療効果および安全性を研究することで、今後増加が予想される高齢者の肺がん治療における治療戦略の開発に役立つことが予想されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年12月1日～2017年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関で免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられた非小細胞肺癌の方300名。うち、当院において治療を受けられた方11名を研究対象とします。

2) 研究期間

当院研究承認後～2020年1月31日

3) 研究方法

2015年12月1日～2017年12月31日の間に当院において免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられた非小細胞肺癌の方で、研究者が診療情報をもとに治療効果に関するデータを選び、分析を行い、高齢者肺癌における免疫チェックポイント阻害薬の有効性および安全性について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報は削除し、匿名化して、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、治療内容、CTやMRIなどの画像データ、腫瘍マーカーなどの血液検査、尿検査、心電図、呼吸機能検査、病理学検査、腫瘍遺伝子検査などのデータ など

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科の医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを氏名などの情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2018年4月1日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

8) 研究組織

岡山大学病院 木浦勝行
川崎医科大学総合医療センター 越智 宣昭
岡山医療センター 南 大輔
津山中央病院 武田 洋正
四国がんセンター 原田 大二郎
中国中央病院 八杉 昌幸
姫路赤十字病院 村上 悦子
岩国医療センター 工藤 健一郎

<問い合わせ・連絡先>

四国がんセンター 呼吸器内科
氏名：原田 大二郎
電話：089-999-1111
ファックス：089-999-1100

【研究代表者・事務局】

岡山大学病院 腫瘍センター
氏名：久保寿夫

電話：086-235-7227（平日：8時30分～17時15分）
ファックス：086-232-8226

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡ください